

月刊



編集発行 一般社団法人 西宮市老人クラブ連合会 〒663-8233 西宮市津門川町 2-28 福祉会館内 ☎ 0798-34-3334

こんにちは！「あいさつ」から広がる友愛活動



秋の嵐山 写真提供 田中 積氏 (用海校区)

錦繡という名の衣を
全身にまとう木々たちが出迎えてくれる里山
次なる季に備え
枝から葉がはなれる刹那の華やぎを
人々は「もみじ狩り」と称して愛で
息をのむほどの美しさに言葉さえも失う
時に酒を酌み交わし しばし酔うもまた一興
誠に善き風情なり



▼毎年、年度末が近付くと少し憂鬱になる。当年度活動報告書。そして、次年度補助金交付申請書の提出作業があるからである。▼問題は「老人クラブ活動等社会活動促進事業活動計画書」ナガイー題名のそれである。▼国補助事業は簡潔に「老人クラブ助成事業」全く分かりやすい。▼県の補助金には何故ナガイー題名の付く、しかも老人という存在の生理的条件を無視し、現役世代を対象とするような事業計画案が提示されるのだろうか？▼立案者は、対象が老人という生理的弱者であることも、そして老人会の前提的構図クラブ会長一人に立案、企画、広報、連絡、集金等々の作業が被さるということも、全く度外視している。▼時々、補助金減額をほのめかすが、定番の行事はやらなければならない。▼私が所属するクラブでは、今年平均年齢が75・95歳に下がった。行事への参加者増を期待したい。▼提出書類、もう少し簡略に出来ないものか。

(安井 塩川)

市老連理事會 10/14

※株式会社新歌舞伎座からのご案内
※西宮警察から交通安全講習会申し込
みのご案内

※地域共生推進課健康づくり支援チ
ムからの説明

【議案事項】

・西宮市から福祉会館取り壊し計画の
説明についての報告

【報告事項】

〈広報部〉

・月刊「いぶき」(第193号10月号)
発行済

・月刊「いぶき」第195号12月号

・原稿依頼(原稿締切・11月11日(水))

・L版「いぶき」第60号1月号

・原稿依頼(原稿締切・11月30日(月))

〈文化教養部〉

・高齢者作品展

10月6日(火)～9日(金)の報告

・高齢者芸能大会

予選・10月21日(水)西宮老人福祉センター
本選・10月28日(水)勤労会館ホール

・カラオケ教室

11月6日、13日、20日各(金)

西宮老人福祉センター

〈体育部〉

・グラウンド・ゴルフ実践講習会の順
延(10月2日(金)↓16日(金))

・高齢者のたのしい体力測定

11月16日(月)

午前9時30分、午後0時30分

大阪ガス今津総合グラウンド体育館

申込締切・11月2日(月)

〈女性部〉

・委員会開催及び1円募金11月26日(木)

西宮老人福祉センター

・後期健康講座11月26日(木)

午後1時30分から勤労会館ホール

にこにこ健康クラブ「健康講座」

主催は阪神南ブロック老人クラブ連
絡協議会

11月9日(月)午後1時30分

尼崎市立すこやかプラザ5階

〈事務局〉

(1) 平成27年度「西宮いきいきクラブ」
冊子配布

(2) 友愛訪問該当者報告書の提出

(3) 高齢者芸能大会入場整理券の配布

(4) ことぶき研修バス(1月分)の割当
年始1月12日(火)から

※次回の定例会

11月11日(水)西宮老人福祉センター

三役会・午前10時

理事会・午後1時30分



校区老連だより

地域交通の夢

生瀬校区 ぐるっと生瀬担当委員

私たちのまちにコミュニティバ
スが走るようになりました。夢は
願わなくては叶わないと申しま
す。悲願の夢が9年越しに実現し
ました。生瀬の秋空が高く青く輝
いています。

この事業の特徴は住民が運営の
主体であることです。運行計画も
走行コース、停留所、料金などは
数回の実験を繰り返して、その都度
説明会を開催しながら地域の声を
随所に反映させて作成しました。

あくまで住民の視線を念頭に置
きつつ、利便性・継続性・地域性
を最重要視しました。維持管理も
単なる行政依存ではなく、運行経
費はできるだけ乗車賃と寄付金な
どで賄うというのが原則です。実
験中は経費が収入を若干上回っ
て、市の補助を必要としましたが
利用者拡大を図り、いずれは自主
自立を目標とするものです。さら
に、この事業は交通不便地域の解
消だけでなく、地域の活性化とい
う特徴を持っています。活動を通
して町を変えるのが狙いです。

実験から本格運行に至るまで特
別なリーダーがいたわけではなく、

各自治会の代表が代々引き継いで
工夫と努力を重ねてきました。1
人の100馬力より、1馬力の1
00人という例えがありますが、
実際その通りだったと思っていま
す。人が力を合わせ、自治会が
つながり、まちが明るくなりつつあ
るという手応えをすでに感じてい
ます。

平成27年10月1日は生瀬地域交
通運行記念日です。3年後、10年
後には生瀬の新しい顔となり、地
域のさまざまな問題を解決するシ
ンボルとして定着できるよう、さ
らなる夢を託しつつ「ぐるっと生
瀬」は今日も軽快に走行していま
す。



心のひろば



戦後70年

平和の大切さを

次世代に

私の8月15日

甲陽園校区

田中 利美

終戦時10歳以上だった方の人口は8%に満たない。戦争の体験を語る声を聴ける時間は限られている。戦争を考えることを8月だけにしてしまわないことが肝要である。「私の8月15日」を含め戦争体験を少し記してみた。ただ戦地や日本内地の様相の悲惨さに及ばないことをお断りしておく。

「鬼畜米英撃滅」と毎日のように叫んでいた日々の時間が急停止した。一体全体どうなるのかと頭の中が空っぽになったのが昭和20年8月15日。私は大連中学(旧制)4年生だった。その日は校庭で防空壕を掘っていた。当時の大連日日新聞に「今日正午重大ニュース」の活字が読めた。

正午、作業を休め講堂に集合。ラジオからは、極めて聴き取りにくい天皇の玉音、「耐えがたきを耐え、

忍びがたきを忍び…」の声だけが耳に残っている。どうやら戦争が終わったらしいことが分かった。教室に戻ると漢文の先生が涙を流しながら「日本が負けた」と話していたのを覚えている。

私は父が満鉄(南満州鉄道)の社員であった勤務地の関係で大連で生まれ育った。

小学校から旧制中学時代は、支那事変から大東亜戦争、そして敗戦と戦争と終戦の混乱の時代だった。小学校2年生のとき、南京陥落などで旗行列行進を何度かさされた。

太平洋戦争が始まった昭和17年中学校に入学した時は、学生帽は戦闘帽、肩カバンは背囊に、そしてゲートルを巻く毎日だった。2年生からは授業と勤労働員がかわるがわるに巡ってくる状態だった。3年生になると

動員が多くなり、大連郊外の飛行場の拡張工事に3週間ほど泊まり込みの動員。朝7時から夕方7時まで、ツルハシとスコップでの作業、その間風呂は全くなく、身体が痒くてたまらない毎日。動員が解けて家に帰りシャツを脱ぐと、シラミがぞくぞくと走り回っていた。

動員中、サイパン玉砕のニュースが流れた。予科練募集の声が届くと、リベラルなある先生が「予科練は死

にいくようなものだ」と消極的に話していた声が残っている。3年生の2学期から授業は全廃となった。満鉄の機関車工場に連日の動員、毎日粉塵と油で顔と服は真っ黒になった。

4年生になると、今度は大連郊外の「防空監視哨」へ1週間交替の泊まり込み。監視は6時間交替ではあるが、夜の12時から朝の6時の当番の時は、北極星を見ながら睡魔に襲われた。

終戦間近、ソ連が進攻。もう少しで北滿へ対ソ連戦車壕掘りと、爆弾自爆攻撃に動員命令されるきわどいところで終戦。大連は満州の南端にあるため戦場にならなかったが、ソ連軍が進駐してきた。街を歩くと「女はいないか」と。時計を盗られ、カメラを供出させられた。

不思議なことに、昭和21年の正月が明けたころ私の中学が再開された。登校してみると、暖房用に燃やしてしまったのか机や椅子は跡形もなかった。

寒さの中、床に座布団を敷きほそぼそと授業が続いた。そして昭和21年12月に5年生繰り上げ卒業となり、大連中学は消滅した。

かったが、最も頭が柔軟な青春の中学時代に勉強ができなかったことが残念だ。

日本へ引き揚げた戦後の食糧難。食べるものがなく、食事代わりにキャベツやカボチャばかりを食べたこと、栄養失調で下痢が半年以上も止まらなかったこと等々。

正に人類の三つの大敵は「病気、貧困、そして戦争」である。戦争は勝者も敗者もない。ただ残酷な殺し合い無意味なものなのである。



会員文芸



◇俳句

段上校区 原土さだ子
石仏もみじ一ひら秋深し
時移り稲かけもなく田広し
菊人形袖よりしづくしたたりて
秋しぐれ高層ビルに虹かかる
七五三家族みんなで子を囲み





審査をしていただいた絵画の田中理先生は「表現することが、生きる力となっていることを作品を通して観るものに伝わってくるのが、何にかえがたい素晴らしいこと」

西宮市、西宮市社会福祉協議会、西宮市老人クラブ連合会共催による西宮市高齢者作品展が今年も開催されました。出展内容は絵画の部46点、書の部28点、写真の部20点、工芸の部14点、で全作品108点の素晴らしい力作ぞろいでした。期間中424人の皆さんが来場。展示にあたっては文化教養部の方々に大変お世話になりました。

**平成27年度
西宮市高齢者作品展**
10月6日(火)～9日(金)
西宮市立市民ギャラリー

西宮市高齢者作品展 入賞者 (敬称略)

種類	絵画の部	書の部	写真の部	工芸の部
市長賞	古市 和子	山田 茂湖	田中 積	松本 康彦
議長賞	大前 三幸	勢戸 寛	近藤 淑子	岡崎歌代子
社会福祉協議会 理事長賞	藤原 洋三	小笠原朝子	薬師 正興	石水 順子
老人クラブ連合会 理事長賞	橋本 利男	山崎 愼巨	浜名 俊宏	戸枝 清宗

書の井下石泉先生は「今回も良い作品が集まり嬉しく思います。ただもう少し筆の使い方を研究して強い線が引けるように」、写真の三井博先生は「バラエティにとんだ素晴らしい作品がそろいました。美を発見する視点もいいものが多かった」、工芸は3人の先生から「日常生活の場にいるおおいを与えてくれる多様な工芸作品の面白さを感じさせてくれました」と、総評をいただきました。また、いつも「いぶき」1ページに写真を提供していただいている田中積氏(用海)が今回市長賞に輝きました (広報部)

11・12月の行事予定

11月6日、13日、20日(金)	カラオケ教室	13:00
11日(水)	三役会	10:00
	理事会	13:30
16日(月)	高齢者の体力測定	9:30・12:30
26日(木)	女性部委員会	10:30
	感謝の一元持ち寄り	10:30
	健康講座 (勤労会館ホール)	13:30
12月9日(水)	三役会	10:00
	理事会	13:30

編集後記

霜月 はや立冬とは季が早い。冠雪の便りも耳にしたのに気持ちはまだだ。

自分のフィールドで思いっきり楽しむ市老連の活躍に余韻冷めやらずといったところです。健康と生き甲斐の両立。誇りと夢を育て磨き上げた努力に敬意を。ジムに通わなくても“西宮いきいき体操”と睡眠、加えて食べ過ぎないことが健康維持の秘けつです。

寒く感じる日もあるでしょうが、頑張って元気に過ごしましょう。

高齢者の事故が増えています

- * 歩行中に事故にあった人の主な違反
 - ・ 通り過ぎた車のすぐ後ろを渡った
 - ・ 横断歩道を渡らなかった
 - ・ 赤信号で横断した
- * 自転車に乗っていて事故にあった人の主な違反
 - ・ 安全を確かめずに急な進路変更をした
 - ・ 安全を確かめずに交差点に入った
 - ・ 一時停止をしなかった

出前式 交通安全講習のご案内

西宮警察署では高齢者の交通事故を1件でもなくすために、出前式の交通安全講習を実施しています。短時間から長時間(10分～1時間程度)まで要望に応じます。各種会合や趣味の集まり等に呼んでくださいとのことです。

◆お問い合わせ

西宮警察署 交通総務係

〒332-0853 西宮市津田町3-3

☎0798-33-0110 Fax0798-34-0110